

# Domaine Henti & Gilles Buisson

winemaker

フランク・ビュイソン(左) /  
フレデリック・ビュイソン(右)  
Frank Buisson / Frédéric Buisson

兄のフランクは1980年生まれ。コマージュの修士を取得し北米や中国でワインビジネスに携わった後、06年、ドメースに戻り、販売・マーケティング担当。弟のフレデリックは85年生まれ。国家醸造師の資格を取得後、前半期の各畑で醸造。ロンドンで3か月間ソムリエの経験も、08年にドメースに戻り、栽培・醸造を担当。



1. ドメースの近く、三叉路の角にある建物の中に、ドメースを醸したまましぼが置かれている。  
2. 西向き斜面のスー・ロッシュ・ブドウ畑を貫くように植えられている木々は、生物多様性の恩恵。霧から霧へと生物が行き来しやすいようにしている。ビデオイヴァンによるビデオイヴァン撮影。

亜硫酸完全無添加も。さまざまに試みに挑む、サン・ロマンのリーディング・ドメース



**ワイン通** でもサン・ロマンの場所を正確に答えられる人はさぞ多くはない。ムルソーからオーセイ・デュレスの谷を遡るだ奥にある村で、1947年に村名アベラシオンを獲得するまではイート・コート・ド・ポリー、二階建てのグラン・クリュは名がブル・クリュさえもなく、有名なのはイン生産者よりもむしろ醸造業者のフランソワ・ワレールといたサン・ロマンだが、ジャスパール・モリムWは著書「Burgundy」で、この村の造り手を肩だけ載せている。そのひとつがアンリ・エジル・ビュイソンだ。

所有畑が20ヘクタールにもなるとドメースで、お隣元のサン・ロマンのほかに周辺のオーセイ・デュレス、ムルソー、ヴォルネイ、ポリー、ポリーなどの村に畑をもち、コルトラン丘に3つのグラン・クリュを所有している。

そして今日、ドメースを率いるのはフランクとフレデリックの兄弟。畑を拡張し、早い段階からビデオ・ジックやビデオ・イヴァンに就任した父ジルの後を2008年に継承。

長男のフランクはサン・ロマンのDNAを「ドン・シモン、ストラクチャー、ミネラル、アイト」というサン・ロマンのブドウ畑を標榜する。410メートルの高さを誇り、ほかの村と比べ100メートル以上高い。その涼涼な気候と石灰質土壌が

このよき特徴をサン・ロマンのワインに与えるわけだ。「80年代から90年代にかけて、白ワインのペナージュをやり出し、とろろがサン・ロマンの場を、美しいサン・ロマンに粘着性を加えたものだから、足して2で割ったようなつまらないワインになってしまった。サン・ロマンに粘着性は必要ないし、ファンクは主張する。醸造中の年、亜硫酸無添加は04年の時代からすでに試してきたが、18年以降は瓶詰め前ま全ワインが亜硫酸無添加。また10年には瓶詰め時も含めていっさい亜硫酸を加工していない「ケヴェ」アソソリュを醸造。現在、赤のスー・ラ・ロッシュと白のスー・ラ・ヴェルにアソソリュがある。

20年のスー・ラ・ロッシュとスー・ラ・ヴェルを比べると、どちらも一点の潤りがない鮮やかで美しいワインだが、アソソリュの方が果実がはっきりと現れているように感じた。同じ20年のスー・ラ・ヴェルは見事なまでのテンション・ロッシュ・ヴェルで、潤化によってよりふっくらしているだろうという予想は意味で裏切られた。ブルゴーニュ高標の畔、ムルソーやヴェルニーのオルタナティブをどうも考え、少なくともサン・ロマンのDNAを頑ななまでに守り続けるこのドメースにあって、無礼千万というものが

1. サン・ロマンスー・ラ・ヴェル 2020  
Saint-Romain Sous la Velle 2020

西日が当たって夕陽の向かい斜面のスー・ロッシュは赤ワイン向き。完熟したスズベリーやチェリーなど濃い果実の酸やかなアロマ。キメ細かいタンニンと、伸びのある酸が印象的。

2. サン・ロマンスー・ロッシュ 2020  
Saint-Romain Sous Roche 2020

西日が当たって夕陽の向かい斜面のスー・ロッシュは赤ワイン向き。完熟したスズベリーやチェリーなど濃い果実の酸やかなアロマ。キメ細かいタンニンと、伸びのある酸が印象的。

3. サン・ロマンスー・ロッシュ「アブリュ」2020  
Saint-Romain Sous Roche "Absolu" 2020

醸造所の中はまるで実験室のようになっていて、ガラス製のワラスコや卵型コンクリートタンク、素焼き粘土のアンフォラなど。樽の大きさも228ℓ、350ℓ、500ℓとさまざま。フードルも使われる。4. グラン・クリュ・インテグラルと呼ばれる、赤ワインの小樽仕込みも実験中。樽の中にはブドウ果皮ごと入っており、樽を回転させることで抽出する。



サン・ロマンにとって  
コクや粘着性は無用

ドメースはサン・ロマンのほかにも周辺のアベラシオンを手がけている。グラン・クリュのコルトラン・クリュ・デュレスやコルトラン・シャルマヌーニュもラインナップ。



FRANCE  
Pioneers leading a new phase of  
Burgundy